
日本 & 京都！

薫子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日本&京都！

【Nコード】

N5371Q

【作者名】

薫子

【あらすじ】

「日本&日本子！」の続編です。

同じく、ほのほのでいくつもりですが、一部誰かが吹っ切れる可能性がありますので、心の準備をお願いします。（笑）

また、この小説はこの世に実在する全てのものと無関係です。

世界会議前夜の挨拶。

お早う御座います！それとも、こんにちわでしょうか？いえ、
こんばんわ？

まあ、それは置いておきまして、お久しぶりです。

京都です。

前作、「日本&日本子」を既に読んで下さった方は、またお
前か・・・と言ったところでしょうか？

ですが、読んでいない方もおられると思いますので、あなた
誰という方に、少しだけ自己紹介をさせてい

たきます。

私は、日本さんの一部・・・と言うのでしょうか。

日本国の本土にあたる者です。

じゃあ、なんで京都という名前なのかという点は、お家芸で
あるスーパースルースキルで無視して下さい

と有難いです。

詳しくは、前作をご覧下さい。

それでは、本編までしばしの間、心の準備をしてお待ちください。

世界会議前夜の挨拶。(後書き)

気長に待っていてください。。。。

やはり、世界会議が始まるのだ

「寒いですねえ……。」

日本さんが、炬燵こたつに入ったまま声を掛けてきます。

「今日は、世界会議がある日ですよ？」

そう言うと、日本さんはのそのそと炬燵から出てきました。

真冬の日本家はいつもこんな感じですよ。

私も、出掛ける準備をし始めることにしました。

でも、世界会議って面倒……いえ、少し疲れるんですよ

ね。

いろいろな意味で。

「京都……！！！！そろそろ、行きますよっ！」

日本さんが呼んでいるので、行かなくちゃいけませんね……

。

玄関に行くと、着物からスーツに着替えた日本さんが居ました。私を見ると何故か不思議そうな顔をな

さっていました。

聞けば、服装が普段着に見えたんだそうです。

失礼な！確かに、薄ベージュのワンピースにジャケットという、緊張感のない服装ですけど。

どごその、ハンバーガー片手に持った国はパーカー＋Gパンですよ！？

真似する気はありませんけどね。

会議室に着くと、丁度ドイツさんが到着したところでした。

この様子だと、予定時間の30分後に始まると考えたほうがいいですね。

日本さんは、早速パソコンを開いて仕事モードです。

ドライアイになるか、過労死しますよ。

言おうかと思いましたが、止めておきました。

そんなこんなやっているうちに、各国が集まり始めました。

・・・そんなこんなって何？

そんなこんなは、そんなこんなですよっ！

したが、あえて無かったことにしておきます。

「それで、眉毛の料理をどうするんだ？」

ドイツさんが、微かに黒い気がしますが、普通ですよね？

「それはだな・・・」

アメリカさんが言うには、世界で料理番組を作ろうと考えたそうなんですが、作る人がくじで引いたらイ

ギリスさんで、助手がフランスさんになったんだとか。なんという人選ミス。

それで、他の国の分担を決めたい、ということでした。

「じゃあ、僕は編集がいいなあ」

最初に、手を挙げたのはええっと、・・・「ラトビア」とよく叫んでいる・・・エス・・・エス・・・

・リアル？お笑いの方と混ざりました。エストニアさんだそうですね。

その後は、スムーズに進み、私たちはカメラ役になりました。

撮影は、三日後。

楽しみです！どんな、食べれないもry・・・食べれるもの
ができるか！

死人が出ないといいんですが・・・。

やはり、世界会議で始まるのだ（後書き）

書いてから、会議中に日本が一言も言っていないことに気付いた人です。

でも、この人選だと生死に関わってきますね。。。 （汗）

収録日はやってくる

目の前には、意気揚々としたイギリスさん。

その横に、口からふわふわしたものを出したまま死にかけているフランスさん。

今日は、料理番組収録の日です。

心なしか、周りの方々の表情も曇っています。

私も実は、胃薬をもって来たんです……。

使わなくて済むことを願ってはいるんですが。

「んじゃー、皆担当場所に行くんだぞ」

アメリカさんが、ハンバーガーを片手にこちらにやってきます。

この方は、イギリスさんの料理が大丈夫なんですよね……。

暗示って怖いです。

ええっと、まあ担当場所に行かなくちゃですよね！

私は、カメラ担当でしたっけ……

カメラのあるところに行くと、日本さんとイギリスさんがいたんですが、イギリスさんの去り際、日本さんが一言。

「とりあえず、生死に関わらないものを作って下さいねー」

その時のイギリスさんの顔は言葉に表せません。

そりゃあ、笑顔でそんなこと言われたら、ショックですよねー。

イギリスさんはそのまま、とぼとぼとセットに向かって行きました。

大丈夫ですかね？真っ白になってますけど・・・。

「じゃあーカウント始めるんだぞ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」

アメリカさんの声が響き渡ります。

収録開始です

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5371q/>

日本&京都！

2011年10月7日20時52分発行